

## 教育学研究科の院生が研究奨励賞等を受賞

教育学研究科2年生の鷗野彩花さんが、一般社団法人日本科学教育学会九州沖縄支部研究奨励賞および日本科学教育学会若手活性化委員会による「ベストプレゼンテーション賞」を受賞しました。

鷗野さんは、宮崎県の中学校理科教員を目指しながら、女子中学生が理科学習から離れてしまうという世界的な課題に着目し、その解決のための基礎研究に取り組んできました。

国際数学理科教育動向調査(TIMSS)における中学2年生の男女別の正答率に着目し、女子の正答率が男子よりも高い出題と、その反対に男子の方が女子よりも高い出題の特徴を明らかにして、日本科学教育学会の年会と研究会に発表した内容が高評価され、2021年9月に一般社団法人日本科学教育学会九州沖縄支部研究奨励賞、2021年12月に日本科学教育学会若手活性化委員会による「ベストプレゼンテーション賞」に輝きました。



藤井研究科長に受賞の報告をする鷗野彩花さん  
(左：指導教員の中山迅教授、中央：鷗野さん、右：藤井研究科長)